

私たちが目指す

## 「協同労働の協同組合法（仮称）」のポイント

- ①協同労働とは「働く者が労働条件を協同で決められる働き方」
- ②「協同労働の協同組合」は協同労働の働き方を保障するために、協同で出資し、協同して働く協同組合（非営利組織）
- ③組合員は、労働基準法第九条の労働者。就業規則や労働契約などの労働条件は、総会または事業場での議決に基づき決定する
- ④設立手続きは準則主義（届出制）とする
- ⑤事業剰余から就労創出の基金を積む
- ⑥法人としての連合会の設置

## 調査研究実績

2008年	三菱財団社会福祉事業・研究助成 「市民が創る新しい地域福祉のあり方と事業モデルの構築－まちづくりにおける地域調査と協同労働研究」
2012年 ～2014年	環境省助成事業 「再生可能エネルギー需給区連携による『もたせ型』分散型エネルギーシステムの開発」代表：茨城大学、東京農工大学、芝浦工業大学、協同総研で推進。 サブテーマ4「開発・運営主体の形成と評価」を協同総研が担当
2013年	厚生労働省 社会福祉推進事業 「社会的事業が取り組む就労支援事業から持続性のある中間的就労創出にむけた制度・支援に関する調査」
2014年	厚生労働省 社会福祉推進事業 ●「地域協働による多元的・多層的な就労支援・社会的居場所創出ネットワーク構築に関する調査研究」 ●「貧困などによる子ども・若者を対象にしたセーフティーネットの現状とその課題に対する提言」

## 一般社団法人 協同総合研究所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 ISP タマビル 7F  
TEL 03-6907-8033 FAX 03-6907-8034  
E-mail kyodoken@jicr.org URL <http://jicr.roukyou.gr.jp/>



Integration of Practice and Research

Innovation

Independence

JAPAN  
INSTITUTE  
OF  
CO-OPERATIVE  
RESEARCH

Human Growth and Development

Standpoint of Humanity

協同を基礎に、連帯社会を創造する「協同労働・協同組合」のシンクタンク

一般社団法人 協同総合研究所

入会とご利用の案内

# 「協同」を推進し、未来を拓く。

私たち協同総合研究所は、日本社会が抱える「格差・貧困」「社会的排除」「分断」「地域の疲弊」「いのちの軽視」のなかで、共に生き、共に働く社会づくりの「調査」・「研究」・「政策提言」・「学び」・「開発」のプラットフォームとして活動しています。

1991年の設立以来、日本で唯一の「労働者協同組合」「協同労働の協同組合」の研究機関として、時代の変化に応じて展開してきました。

明日という言葉に希望が持ちにくい今、明日という言葉が再び輝きを取り戻すために、市民による協同労働の実践と研究者を結び、「協同労働」・「協同組合」研究の新しい地平を拓くことを目指します。

## INVESTIGATION

### 1 「協同労働の協同組合」法制化

- 「コミュニティ事業支援条例」の制定や「ワーカーズコープ支援センター」設立など、地方自治体がワーカーズコープの起業を支援する制度調査
- ヨーロッパや韓国をはじめとする海外の労働者協同組合や関係組織の先行事例調査
- 既存の組織法人からの協同労働の協同組合法人への「組織転換」のあり方の調査

### 2 社会変革の主体となる団体調査

- 社会的経済および連帯経済を促進する市民活動、社会的企業など、地域の課題に立ち向かい社会変革を目指す取り組みの調査

## 協同の発見

1991年から月刊で発行している研究誌。「協同の発見・創造」をテーマに、現代社会に求められる内容を毎号の特集として掲載しています。



- 2017年7月(296号) 市民主体の社会・経済から自治を創造する
- 2017年8月(297号) 法制化時代、協同労働を地域づくりに活かすこと①
- 2017年9月(298号) 法制化時代、協同労働を地域づくりに活かすこと②
- 2017年10月(299号) 「ワーカーズコープ論」寄附講座運動
- 2017年11月(300号) 記念 協同労働の協同組合法制化実現に向けて
- 2017年12月(301号) 「協同集会」が社会連帯運動となる・地域協同集会の記録
- 2018年1月(302号) いま、「協同」が創る2017全国集会 報告集
- 2018年2月(303号) 若者自立支援から若者協同実践へ
- 2018年3月(304号) 協同で切り拓く震災復興から考える、持続可能な地域・社会づくりへの挑戦

## 調査

## 学び

## 研究

## 政策 提言

## 開発

## LEARNING

### 1 「ワーカーズコープ論」開講

- 大学生に「働くこと」と「地域づくり」を主体的に考える場としてワーカーズコープ寄附講座の全国展開(2018年度は9大学で開催予定)

### 2 「協同」をテーマにしたネットワークの強化

- 協同組合等関連研究所との関係強化
- NPO、NGOなど社会変革を担う非営利・協同セクターとの連携
- 法制化後を見据えて、組織転換の可能性のある中小企業等との連携

### 3 会員活動推進

- 各地域の会員間のつながりを促進する会員集会の開催

## RESEARCH

### 1 「協同労働」の性格・社会的インパクト研究

- 実践領域の「協同労働」についての研究者、実践者と連携した「協同労働」の性格や社会的インパクト研究
- 「協同労働」の事業評価等についての新しい経営論の研究

### 2 「協同組合」の今日的な価値について問う

- 「協同組合」の存在意義についての本質的な問い合わせを進める

## POLICY SUGGESTIONS

### 1 社会の制度や仕組みについて

- ワーカーズコープが発展していくために必要な諸条件についての提言
- 法人設立の際に必要となる基本的な文書、連合会組織のあり方、果たす機能・役割についての提言

### 2 SDGs (持続可能な開発目標) × 協同労働

- 脱原発・再生可能エネルギー、農業・林業などの一次産業の再生、食の安全、遺伝子組み換え作物の危険、AIをはじめとした新しいテクノロジーなど、自然と人間の命に関わるテーマを、持続可能な社会づくりに向けての政策提言

## DEVELOPMENT

### ◆ ワーカーズコープ設立・組織転換・運営の支援

- 「ワーカーズコープ設立セミナー」等、設立についての研修会の開催
- 設立を支援するテキスト・ハンドブックの出版。モデル定款・登記の方法などの作成
- ワーカーズコープを運営するための財政基盤づくりや資金調達の開発支援

## 研究所のあゆみ

協同総研25年の歴史  
初代理事長の黒川俊雄教授が1985年に立ち上げた「地域コミュニティ・労働者協同組合研究会」で、6年間の議論を経て、労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会が母体となり、1991年3月23日設立

